



平成30年7月17日

別海中央小学校と協働した「生きもの調査」実施日のお知らせ

6月28日にお知らせしました別海中央小学校児童との協働による「生きもの調査」については、7月11日（水）再延期のお知らせをしましたが、7月20日（金）（予備日 7月23日（月））に実施することとしましたので、下記のとおりお知らせします。

記

- 日時：平成30年7月20日（金） 午前の部 9:40～ 午後の部 13:10～
場所：第三清丸別排水路及び遊水池周辺（野付郡別海町別海161-69）
内容：魚類調査、水質及びカエル調査
参加者：別海中央小学校5年生（69名）
その他：小雨決行、荒天の場合は7月23日（月）に延期します。

※詳細については別紙をご覧ください。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部 土地改良情報対策官

土地改良情報対策官 神原 和明 0154-24-7407（ダイヤルイン）

付土地改良情報係長 三村 敬一 0154-24-7419（ダイヤルイン）

釧路開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/ks/>



別海中央小学校と協働した生きもの調査の実施について

- 1 調査日 平成30年7月20日(金) 予備日 平成30年7月23日(月)
- 2 調査場所 第三清丸別排水路及び遊水池周辺(別添参照)
- 3 参加者
 - ・北海道開発局釧路開発建設部
 - ・環境コンサルタント(株)
 - ・別海中央小学校 5年生2クラス 1組 引率者3名、児童34名
2組 引率者3名、児童35名
- 4 調査内容
 - (1) 魚類調査
 - ① さで網(排水路の中にいる魚類を足で追い込み、さで網で採捕)
→児童が実施。排水路を4区間に区切り4班体制で行う。
 - ② かご網(餌の入ったかごを流れの遅い箇所に設置し回収)
→コンサルタントが実施し、採捕された魚類等を水槽で児童が観察。
 - ③ 定置網(事前に排水路に設置し遡上魚類を採捕)
→コンサルタントが実施し、採捕された魚類等を水槽で児童が観察。
 - (2) 水質及びカエル調査
 - ① 簡易透視度計(ペットボトル)により水の透視度を調査
→児童が実施。
 - ② 排水路横の林帯でカエルを採捕
→児童が実施。
- 5 調査の進め方
当日の午前と午後に1クラスずつ参加する形で実施する。また、クラス内で2グループに分かれ、魚類調査、水質及びカエル調査を交互に行う。
- 6 調査実施の判断
天候不良や水位の上昇が予想される場合は、調査日の前日に小学校と打合せを行い、順延等の最終的な判断を当日の朝6時に小学校側が決定する。
- 7 当日の連絡先
釧路開発建設部 土地改良情報対策官 神原 0154-24-7407
付土地改良情報係長 三村 0154-24-7419

8 タイムスケジュール

午前の部

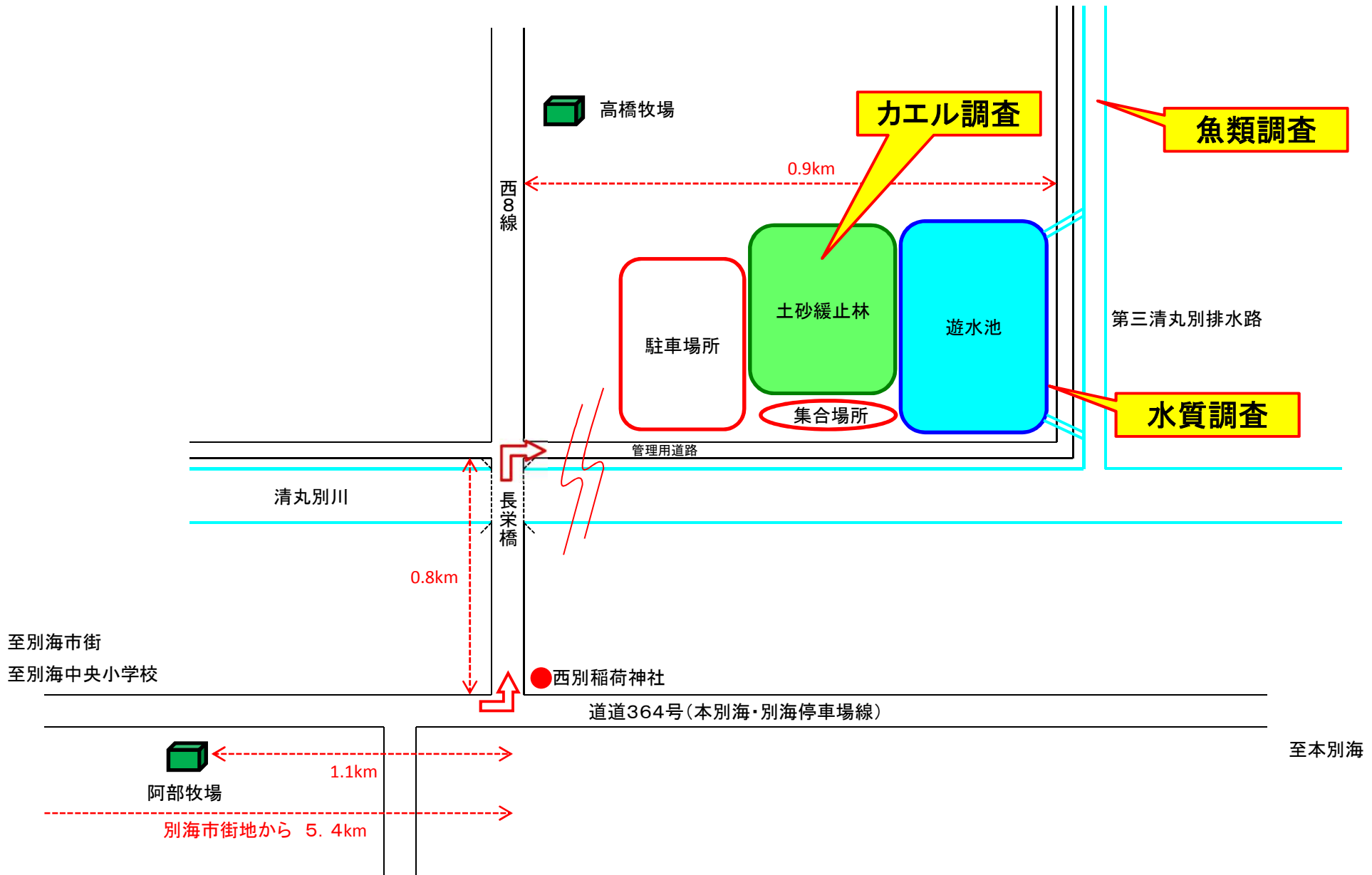
時 間	行 程	備 考
9 : 3 0	別海中央小学校出発（5年2組）	
9 : 4 0	現地到着、概要説明	
9 : 5 0～11 : 1 0 (9 : 5 0～10 : 3 0) (10 : 3 0～11 : 1 0)	生きもの調査実施 グループ1：魚類調査、 グループ2：水質及びカエル調査 グループ1：水質及びカエル調査 グループ2：魚類調査	
11 : 1 0	挨拶（建設部）、記念撮影	
11 : 2 0	現地出発（5年2組）	
11 : 3 0	別海中央小学校到着（5年2組）	

午後の部

時 間	行 程	備 考
13 : 0 0	別海中央小学校出発（5年1組）	
13 : 1 0	現地到着、概要説明	
13 : 2 0～14 : 4 0 (13 : 2 0～14 : 0 0) (14 : 0 0～14 : 4 0)	生きもの調査実施 グループ1：魚類調査 グループ2：水質及びカエル調査 グループ1：水質及びカエル調査 グループ2：魚類調査	
14 : 4 0	挨拶（建設部）、記念撮影	
14 : 5 0	現地出発（5年1組）	
15 : 0 0	別海中央小学校到着（5年1組）	

現地位置図(現地までの移動及び調査箇所)

別添



別海中央小学校と協働した「生きもの調査」について

釧路開発建設部では、農業農村整備事業や地域の自然環境の改善や保全について、地域の方々に関心を持っていただくため、地域の将来を担う別海中央小学校との協働による「生きもの調査」を、平成17年から毎年実施しています。

今年は、7月20日(金)、場所は「別海地区」で整備した第三清丸別排水路及び隣接する遊水池等で、魚類調査、カエル調査及び水質調査を行います。

■ 釧路開発建設部の取組

別海町は酪農だけではなく、野付湾や風蓮湖などでの漁業も盛んであり、排水被害時には地域の火山性土壌の特性や家畜ふん尿の農地還元したものが、河川へ流出するなど、周辺環境への影響が懸念されていました。

このため、釧路開発建設部では、牧草の生産性の向上と併せて、環境への負荷に配慮した農業の推進を目指して、平成11年度から国営環境保全型かんがい排水事業を実施しています。

この事業では、家畜ふん尿等の適正な農地還元を可能とする肥培かんがい施設とともに、排水路沿いに林帯を有する浄化型排水路を整備しています。

浄化型排水路には遊水池及び林帯を設置しており、農地から排水路への土砂、汚濁物質の流入を抑制し、下流河川・湖沼の水質改善機能を発揮しています。

また遊水池や林帯は、水質浄化以外にも、動物の移動生息域の確保や農村景観の形成など多面的機能を持つことが期待されています。



■ 別海中央小学校の取組

別海中央小学校では、5年生の総合的な学習の時間を用いて、別海町の産業発展に関わる地域の自然環境を維持するシステムについて学習することとしています。この「生きもの調査」もこの学習の一環として取り組んでおり、実際にフィールドに出て自然と触れ合うことで、地域の自然環境の現状について学びます。

昨年の調査状況

魚類調査



カエル調査



水質調査

